

あすな、具謙ア自らの會端並明訓會セラムサセモ那華の會端會  
會でテアスイ全華縣也」メ、華縣の會端並明訓會不道ノ所アシテ  
アムカ音樂ちハナ全華縣也アの青平福東培訓會會員總ア宗全列連  
十正日青華縣の台樂」青平福東培訓會會員總ア宗全列連  
列連ノ縣映字樂する日味良主樂の選音會編セムハムハム。六月  
の本トロドリ、廿日ア流三回中火透風會の本トロドリの縣由の中列  
四月の英二回中火透風會の本トロドリの縣由の中列  
食ふらはせぐ。

誠矣其内アメニア。具謙由ア農業會議大本頭ア職あるアセナ  
鶴陽縣縣長未だ資政の職處アメニア。この縣間の縣の圓甲村未だ  
更譲總印の事アアモアメニア。圓甲の縣一の縣は圓甲會の職立ト子の全  
青平福東培訓會會員もアメニア。圓甲司譲總印、總印  
る圓甲會會員アメニア。圓甲村主アメニア。圓甲村各村總會合  
體ノア。全華縣貴國頭阿村會アメニア。圓甲村總會アメニア。圓甲村總會アメニア。

わざ々待つて開會せしめか如、和民主義の最後の殘を克服  
することか如何に困難であり而も堅持に必要であるかの實例である

### 二、全農全國會議

以上の如き情勢にあつて、舊た分散的に且つ不徹底に、なほ日利  
見主義的或は極左的偏向をもち乍ら闘つて來た左翼の勢力を糾合し  
「全農を守りこれを全体として駆逐化し農民大眾の利益の爲に全農  
から裏切者分離主義者、勞農政黨支持を強制する奴等を放逐し以つ  
て「土地を働く農民へー」を實現すると云ふ根本方針の下に一七月  
七日、全農頭東地方協議會、近 地方協議會代表者及び他の地方  
の左翼縣柳代表、左翼中央委員が會合し、勞農政黨支持強制反對全  
國會議が開かれた。次いでこの會議で指定された定書記局は更に  
八月全農地協代表者全國會議を召集し「全農からファシストを放逐  
し組合の革命的傳統の擁護とその發展の爲、左翼的聯合會の協力一